

02-学科・専攻の概要

1. 教育計画

学期（二期制）	登校日数・長期休み
<ul style="list-style-type: none"> ・前期：4月1日～9月30日 ・後期：10月1日～3月31日 	登校日数：200日 夏期：8月1日～9月1日 冬期：12月21日～1月7日 学期末：3月31日
成績評価の基準	進級・卒業要件
授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。 <ul style="list-style-type: none"> ・90点～100点 秀 ・80点～90点 優 ・70点～79点 良 ・60点～69点 可 ・59点～0点 不可 	当該年次の所定の科目が認定され、かつ当該年次の規定出席日数を満たしていること。

2. 取得実績のある資格

団体	資格名
経済産業省	データベーススペシャリスト試験
経済産業省	ネットワークスペシャリスト試験
経済産業省	情報処理安全確保支援士試験
経済産業省	応用情報技術者試験, 基本情報技術者試験, ITパスポート試験
オラクル認定	ORACLE MASTER 11g Bronze/Silver
オラクル認定	ORACLE JAVA プログラマ Bronze/Silver
CompTIA	CompTIA Strata IT Fundamentals
CompTIA	CompTIA A+, Network+, security+
マイクロソフト認定	Microsoft Office Specialist(Excel/word/Power Point/Access)
CG-ARTS 協会	CGクリエイター検定, CGエンジニア検定, マルチメディア検定
日本医療情報学会	医療情報技師, 医療情報知識検定試験
日本医療教育財団	医療事務技能審査試験, 医師事務作業補助技能認定試験, 医事オペレータ技能認定試験

職業教育・キャリア教育財団	情報処理活用能力検定（J検）
職業教育・キャリア教育財団	ビジネス能力検定（B検）
実務技能検定協会	サービス接遇検定，ビジネス電話検定，秘書技能検定
日本商工会議所	簿記検定

3. 学科・専攻とカリキュラム

①大学併修科

学科の目的 特徴		企業で活躍できる経営能力と情報技術を修得し、高度情報処理技術者を目指す。また、高等学校教諭一種免許状(情報、数学、商業)も取得できる。グループの北海道情報大学と併修し、経営情報学士と高度専門士の称号が付与される。				
修業年限	定員数	専門士		高度専門士		
4年(昼)	35名	-		平成17年文部科学大臣告示170号		
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目		
3,430時間		2,050時間	305時間	1,075時間		
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、データ構造とプログラミング、アルゴリズム、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、システム開発の基礎、データベースの基礎、システム設計ネットワークとセキュリティ、簿記会計I、C言語 など			
		2年	情報処理技術、Java、セキュリティ応用、CompTIA A+、UML演習、システム開発演習、Oracle SQL、HTML演習、システム監査、コミュニケーション技法、ネットワーク応用、オブジェクト指向プログラミング など			
		3年	オペレーティング基礎論、臨床医学、ゲームアルゴリズムネットワークシステム概論、ビジネスマナーと文書技法、販売士、CompTIA Security+、マーケティング論、システム開発演習 など			
		4年	XML、Webアプリケーション構築1、プロジェクト管理、C/Sシステム構築、就職対策、卒業論文、卒業研究 など			
目標資格		ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ORACLE MASTER Bronze/Silver、Microsoft Office Specialist、高等学校教諭一種免許状(情報、数学、商業) など				

②医療情報学科

学科の目的 特徴		医学・医療の知識、医療情報システム、情報処理技術を学習し、医療機関で従事する医療情報技師やIT企業で活躍できるシステムエンジニアを育成する。 医療情報技師能力検定、情報処理技術者試験の取得を目指す。		
修業年限	定員数	専門士		高度専門士
3年(昼)	30名	平成22年文部科学大臣告示152号		-
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目
3,210時間		1,775時間	475時間	960時間
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズム、データ構造とプログラミング、システム開発の基礎、データベースの基礎、システム設計、C言語、医学・医療、臨床医学、デジタル社会の法制度 など	
		2年	情報処理技術、Java、セキュリティ応用、医療事務、医療事務演習、病院情報システム、医療ネットワークシステム、電子カルテシステム、医療事務ソフト演習、電子カルテ演習、医療システム開発演習HTML演習、コミュニケーションスキル、UML演習 など	
		3年	プレゼンテーション技法、WEB演習1、XML、ビジネスマナーと文書化技法、オブジェクト指向プログラミング1、ビジネス実務、Webアプリケーション構築1、卒業研究 など	
		4年		
目標資格		医療情報技師能力検定、医療情報基礎知識検定、 医師事務作業補助技能認定試験、 応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、情報検定(J検) など		

③システムエンジニア科

学科の目的 特徴		システム分析から設計、プログラム作成、試験、運用に至る一連のサイクル全般に関与できるシステムエンジニアを育成する。DB構築、webアプリケーション開発、ネットワーク技術などを修得します。			
修業年限	定員数	専門士		高度専門士	
3年(昼)	30名	平成22年文部科学大臣告示31号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3,210時間		1,918時間	264時間	1,028時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズム、システム開発の基礎、システム設計、C言語、データベースの基礎、ITストラテジとマネジメント、デジタル社会の法制度、コミュニケーションスキル、ビジネススキル など		
		2年	セキュリティ応用、オブジェクト指向プログラミング1 オブジェクト指向プログラミング2、Linux、Java、アプリケーション開発技術、Androidアプリケーション開発、ディスカッション、モバイル概論2、ネットワーク概論2 など		
		3年	XML、Android 業務アプリ開発演習、C/S システム構築、Web アプリケーション構築1、Web アプリケーション構築2、ビジネスマナーと文書技法、プロジェクト管理、C/S システム構築、Ajaxアプリケーション構築、卒業研究 など		
		4年			
目標資格		データベーススペシャリスト試験、情報処理安全確保支援士試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ORACLE MASTER Bronze/Silver、ORACLE JAVA プログラマ Bronze/Silver、情報検定(J検)、CompTIA Strata IT Fundamentals、CompTIA Network+ など			

④ゲームクリエイター科

学科の目的 特徴		ゲーム企画から設計、プログラミング、CG、サウンドなどの知識、技術を修得し、ゲーム業界でも活躍できるゲームクリエイター、ゲームプログラマを育成する。また、IT企業でも活躍できるシステム開発技術も育成する。			
修業年限	定員数	専門士		高度専門士	
3年(昼)	30名	平成22年文部科学大臣告示31号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3,210時間		1,660時間	285時間	1,265時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、データ構造とプログラミング、CG概論、アルゴリズム、ハードウェア、ソフトウェア、システム開発の基礎、データベースの基礎、デジタル社会の法制度、ネットワークとセキュリティ、ゲームプランニング、デザイン理論、マルチメディア概論、ゲームプログラミング1、コミュニケーションスキル など		
		2年	アニメーション技法、セキュリティ応用、UML演習、AS3.0制作、PHP&MySQL、ゲームプログラミング2、デジタルサウンド、ゲームプログラミング3、コミュニケーションスキル2、ゲームアルゴリズム、Java、情報処理技術 など		
		3年	XML、プロジェクト管理、ゲームプログラミング4、DTP技法、HTML&CSS、Webデザイン、Webアニメーション、Androidアプリケーション開発、ネットワーク応用、PowerPoint演習、卒業研究 など		
		4年			
目標資格		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、CGエンジニア検定、マルチメディア検定、CGクリエイター検定(webデザイン、デジタル映像)、情報検定(J検) など			

⑤プログラマ科

学科の目的 特徴		システム設計の基礎知識、プログラム言語、アルゴリズム等を修得し、システム開発におけるプロダクションエンジニアを育成する。また、エンドユーザ部門では、情報化のリーダーとして指導・育成を担う人材の育成も目標とする。			
修業年限	定員数	専門士		高度専門士	
2年(昼)	30名	平成22年文部科学大臣告示31号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
2,130時間		1,200時間	170時間	760時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、ネットワークとセキュリティ、アルゴリズム、表計算、システム開発の基礎、システム設計、データベースの基礎、ITストラテジとマネジメント、C言語、デジタル社会の法制度、コミュニケーションスキル など		
		2年	オブジェクト指向プログラミング1、XML、プレゼンテーション技法、Webアプリケーション構築、ビジネス実務、ビジネスマナーと文書技法、就職対策、C/Sシステム構築、ビジネスアプリケーション1 など		
		3年			
		4年			
目標資格		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ORACL MASTER silver・Bronze、情報検定(J検)、Microsoft Office Specialist など			

⑥ゲーム・CGデザイン科

学科の目的 特徴		ゲーム系はC、C++等のプログラム言語を使用した2D、3Dゲーム作成ができる人材を育成する。CG系は、デジタル素材の特性を理解し、Photoshop やIllustrator、Flash等を使い、加工・編集が行える技術者を育成する。			
修業年限	定員数	専門士		高度専門士	
2年(昼)	30名	平成22年文部科学大臣告示153号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
2,130時間		1,065時間	135時間	930時間	
実施科目 (抜粋)		1年	データ構造とプログラミング、アルゴリズム、ハードウェア、ソフトウェア、システム開発の基礎、データベースの基礎、ネットワークとセキュリティ、CG概論、ITストラテジとマネジメント、マルチメディア概論、プログラム演習、コミュニケーションスキル、ゲームプログラミング1、ゲームプランニング、デザイン理論、デザイン実践、デザインツール、就職対策など		
		2年	アニメーション技法、Webアニメーション、ゲームプランニング、ビジネスマナーと文章技法、ゲームプログラミング2、HTML&CSS、DTP技法、webデザイン、セキュリティ応用、デジタルサウンド、AS3.0制作、PHP&MySQL、卒業研究、PowerPoint演習など		
		3年	/		
		4年	/		
目標資格		応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、CGエンジニア検定、マルチメディア検定、CGクリエイター検定(webデザイン、デジタル映像)、情報検定(J検) など			

⑦ビジネス科

学科の目的 特徴		一般企業で多く利用されている Microsoft Office をはじめとしてビジネスソフトの高度な利用技術をもった人材を育成する。また、医療制度、医療事務管理等を履修し、医療事務従事者も育成する。			
修業年限	定員数	専門士		高度専門士	
2年(昼)	30名	平成25年文部科学大臣告示3号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
1,890時間		995時間	210時間	685時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、デジタル社会の法制度、情報処理の基礎、コミュニケーションスキル、簿記会計1、オフィス演習1、ビジネス概論、ビジネス実務1、ITストラテジとマネジメント、経営概論、販売経営管理、マーケティング、販売士対策、医療事務、医療事務演習、医学・医療 など		
		2年	Web演習1、ビジネス実務3、セキュリティ応用、オフィス演習応用、医療事務ソフト演習、臨床医学、Web演習2、ビジネス実務4、ビジネスアプリケーション2、卒業演習 など		
		3年			
		4年			
目標資格		日商簿記検定、販売士、秘書検定、情報検定(J検)、Microsoft Office Specialist、ビジネス検定(B検)、サービス接客検定、ビジネス電話検定 など			

4. 就職率、卒業後の進路

就職率	100.0%	※平成 29 年 3 月卒業生実績
<p>主な就職先</p>	<p>(株) I I J エンジニアリング、旭情報サービス(株)、 (株) アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン (株) アド・ビジネスコンサルタント、eBASE-PLUS(株) ウイルテック(株)、(株) エイチ・エル・シー、エスアイエス・テクノサービス(株) (株) エヌ・ティ・ティ エムイー、(株) エフアイティーシステム (株) オーディーシー、(医) かわなか整形外科、キャル(株)、(株) 九州 D T S 九州小島(株)、(株) 九州日立システムズ、極東ファディ(株)、(株) K S ソリューションズ (株) コア、コベルコソフトサービス(株)、(株) コメリ、コンピュータハウス(株) (株) サンウェル、サンケンフォーキャスト(株)、サンプロードケミカル(株)、 (株) 三和システム、C T C システムマネジメント(株)、(株) J I E C (株) ジェイアイフィット、新日本システック(株)、Sky(株)、セントラルソフト(株) 大和冷機工業(株)、T I S ソリューションリンク(株)、(株) テイ・アイ・シー (株) T B C、電子開発学園、T O T O(株)、トッパン・フォームズ・オペレーション(株) 中川食品(株)、ナビオコンピュータ(株)、(株) ニチイ学館、(株) N E X C O システムズ ネット・インフォメーション(株)、(医) 直方中村病院、(株) ピア、 (株) プリントパック、(有) メディカルサービス山口、(株) リードコム、 (株) 竜巧社ネットウエア、(株) ワードシステム</p>	